

令和8年度 事務事業評価シート

事務事業名		早慶対校競漕大会運営委員会						所管	国際・都市交流推進室	
									都市交流課	
事務事業の概要	事業目的	隅田川で行われる早慶レガッタは、100年を超える伝統があり、春の風物詩として注目度の高い大会である。姉妹区の墨田区とともにこの大会の開催に協力し、両区民の交流の活性化及び両地域の繁栄を図ることを目的とする。						事業の開始・終了年度		
								[事業開始] 昭和 5 9 年度		
								[終了予定] - 年度		
	[R7年度]事業内容	早慶対校競漕大会運営委員会に助成金を交付								
	根拠法令等	台東区早慶対校競漕大会助成金交付要綱								
	委託の有無	なし			補助金の有無		なし			
事務事業の実績	種 別	指標の名称	単位	R9年度 目標値	R5年度 実績	R6年度 実績	R7年度 実績 目標値 達成率			
	活動指標	助成件数	回	1	1	1	1	1	100.0%	
	成果指標	来場者数	人	30,000	30,000	30,000	30,000	30,000	100.0%	
	決算額（単位:千円）				R5年度		R6年度		R7年度	
					425		425		425	
	事務事業コスト (単位:千円)	人にかかるコスト(人件費など)			1,283		978		1,942	
		物にかかるコスト(物件費・維持補修費)			0		0		0	
		その他のコスト(扶助費・補助費など)			425		425		425	
		総経費			1,708		1,403		2,367	
	財源項目 (単位:千円)	受益者負担額(使用料・手数料・負担金など)			0		0		0	
		その他特定財源(国や都の支出金・財産収入など)			0		0		0	
		一般財源(区負担額)			1,708		1,403		2,367	
実績を踏まえた評価	評価の視点	評価	評価の理由							
	必要性	3	墨田区との交流事業の一環であり、歴史も長く、多くの観客で賑わう本大会は、両地域の活性化に資するものであり、本大会の円滑な運営を支えるために必要な事業である。							
	効率性	3	助成金交付に関する事務と、運営委員会から各所管課への申請手続きの補助が主な業務であり、コストや効率性に大きな変化はない。							
	手段の適切性	3	大会運営経費の一部助成は、春の風物詩として注目の高い本大会を実施するために必要なものであり、手段として適切である。							
	目的達成度	4	毎年多くの観客で賑わうなど、両地域の繁栄の一助となっている。							
総合評価	現在の課題	団体への助成を適切に行っていることから区の課題はないが、引き続き団体からの相談、申請対応を適切に行っていく必要がある。また、隅田川の護岸工事の影響で区設置の慶祝幕の設置場所がなくなる可能性がある。							評価結果	
	今後の方向性	墨田区との交流事業の一環であり、両地域の活性化に資するものであることから、引き続き助成を行っていく。また、区設置の慶祝幕設置の見直しについて運営側と対応を協議していく。							維持	

令和8年度 事務事業評価シート

事務事業名				ときめき たいとうフェスタ計画事業推進				所管		国際・都市交流推進室 都市交流課	
事務事業の概要	事業目的	(1)台東区民及び他都市等の住民との交流を深め、まちのにぎわいを創造しながら人々が楽しく住めるまちの実現をめざしていく。 (2)豊かな伝統文化を守り育て、様々な地域資源・魅力をさらに高め、区の情報を発信しながら台東区を広くアピールする。						事業の開始・終了年度			
								[事業開始] 平成 1 0 年度			
								[終了予定] - 年度			
	[R7年度] 事業内容	1. 5つのおまつりに対する負担金の交付 地域の活性化を目的とし、①浅草観音うら・一葉桜まつり②浅草橋紅白マロニエまつり③下町七夕まつり④谷中まつり⑤桜橋花まつりの5つのおまつりに対し、負担金を交付する。 2. ときめき たいとうフェスタ情報発信事業 ときめき たいとうフェスタ事業及び台東区を区内沿線鉄道事業者との協働により広くPRする。 3. 姉妹友好都市等協賛事業 姉妹友好都市及び台東区と関係の深い都市等の催しに協賛し、台東区のPRを行う。									
	根拠法令等	ときめき たいとうフェスタ推進委員会補助金交付要綱									
委託の有無	なし			補助金の有無		なし					
事務事業の実績	種 別	指標の名称	単位	R9年度 目標値	R5年度 実績	R6年度 実績	R7年度 実績 目標値 達成率				
	活動指標	補助金交付件数	回	1	1	1	1	1	100.0%		
	成果指標	まつり来場者数	人	400,000	441,000	361,000	377,000	370,000	101.9%		
	決算額（単位：千円）				R5年度		R6年度		R7年度		
					53,290		60,287		59,049		
	事務事業コスト (単位：千円)	人にかかるコスト(人件費など)			13,688		15,452		16,989		
		物にかかるコスト(物件費・維持補修費)			0		0		0		
		その他のコスト(扶助費・補助費など)			53,291		60,287		59,050		
		総経費			66,979		75,739		76,039		
	財源項目 (単位：千円)	受益者負担額(使用料・手数料・負担金など)			0		0		0		
		その他特定財源(国や都の支出金・財産収入など)			0		0		0		
		一般財源(区負担額)			66,979		75,739		76,039		
実績を踏まえた評価	評価の視点	評価	評価の理由								
	必要性	3	地域の活性化を目的とした5つのおまつりや、姉妹・友好都市での台東区のPRに対しての負担金交付は区として必要な事業である。その一方で、ときめきたいとうフェスタ及び台東区の情報発信を様々な媒体でPRしているが、観光部門でも様々なPRを行っていることから、一部内容については見直しの検討が必要である。								
	効率性	3	負担金交付に関する事務が主な業務であり、コストや効率性に大きな変化はない。								
	手段の適切性	3	負担金交付額の決定にあたっては、実施報告書等を確認し、ときめきたいとうフェスタ推進委員会補助金交付要綱に基づいて適正な執行を図っている。								
	目的達成度	4	5つのおまつり全てにおいて区民や観光客で賑わっており、台東区のPRにもつながり、地域活性化にも大きく寄与している。								
総合評価	現在の課題	負担金の交付用途のうち情報発信事業にて、様々な媒体で区の事業をPRしているが、一部の内容が区他部署の情報発信内容と類似している。							評価結果		
	今後の方向性	情報発信事業について内容の見直しを行い、引き続き鉄道事業者とのつながりを活かした、「ときめき たいとうフェスタ事業」ならではのPRを行う。							改善		